

『はじめよう コンサート!』の実践

札幌市立北光小学校 佐藤 史絵

◆単元のポイント

○ねらい

- ・日常の音楽の成果を披露すると共に、集会を作り上げようとする。
- ・集会を運営するにあたり、見通しをもって活動することができる。

○子供の実態から

高学年としての自覚はもちつつも、実践力に物足りなさを感じさせる子供たち。また、集団で行動することに安心感を抱き、自己決定することを逃れているようにも見える子供たち。最高学年に向けて、もっと自主性を身に付けさせたいという思いから、活動を構成します。

日常の音楽の
取り組みを生
かして

これまで、地区音楽会に出場したり、リコーダーで四重奏をするなど、学年を挙げて音楽の指導に力を入れています。子供たちは、自慢の音楽をたくさんの人に聞いてほしいという思いで、この活動に取り組みます。自信があったからこそやり遂げられることかも知れません。

活動の意欲付
けを大事に

このような活動の場合、活動が持続するためには子供の意欲が持続しなくてはなりません。そのため、いかに子供の思考の流れを汲み取るかが重要になってきます。教師の押しつけにならないよう、学習カードなどから常に子供の思いを見取り、子供の主体性を大事にした活動構成を心がけます。

いろいろな人
とのかかわり

準備の段階でかかわる『人』に、出演をお願いする他学年の児童や先生。宣伝をした、保護者や見ず知らずの地域の人や校内の教職員。そして、当日観にきてくれたたくさんのお客さん。どの人たちも、子供たちにとって大事な『人』になります。このような活動で子供は、「『相手』のことまで考えることがこんなに大変なんだ」と、実感します。そして、相手の気持ちになって考えることの大切さを学びます。

◆単元の構想（7時間扱い）

音楽集会をしよう！！（1）

- ・めあてや係を決める

⇒

- ・（実行委員の）子供たちから提案するようにさせる。

ライブへ向けて準備開始！（3）

- ・係ごとに活動
- ・校内外の人に宣伝する

⇒

- ・子供の思いを生かし、準備・計画など運営を子供の手で行わせる。

もうすぐ本番！～全体会～（1）

- ・他の係へ質問タイム

⇒

- ・質問やアドバイスをし合い、仕事のもれがないかを全体場で確認させる。

いよいよライブ、準備はOK？（1）

⇒

- ・全体会を受け、係ごとに当日の動きを最終確認するよう促す。

ミレニアムライブ大成功！（1）

- ・たくさんの人に見てもらう
- ・感想をアンケート用紙に
- ・これまでの活動を振り返る

⇒

- ・いろいろな人から感想をいただき、自分たちの活動を振り返る。特に保護者の方には、辛口意見を願いました。

◆実践するにあたって

○大きな気持ちで見守って

⇒子供たちが自信をもって活動に取り組み、またしたいという意欲をもたせるためには、子供の思いを大事にしなければなりません。子供が納得しながら活動を進めていけるよう、押しつけにならないようにしたいものです。教師は子供たちの多少の失敗も想定してあせらずに！

○継続的に取り組んでいるごとを生かす

⇒本学年は音楽の取り組みに力を入れていたので、このような活動にしましたが、音楽以外にも考えることができます。例えば体力作りに力を入れていればスポーツ大会を。本読みを続けているから読み聞かせ会と、学年・学校の特色を生かした様々な活動が考えられます。